

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
主投資対象	投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)を主要投資対象とします。
運用方針	<p>①主として、投資信託証券に投資し、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。</p> <p>②運用にあたっては、原則として、ファンドが実質的に保有する以下に掲げる資産の投資信託財産の純資産総額に対する割合が、それぞれ以下に定める範囲内となるよう、投資信託証券に投資します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内株式……………33% (±10%) ・外国債券……………33% (±10%) ・不動産投資信託…33% (±10%) <p>③上記の資産への投資にあたっては、以下に定める投資信託の受益証券を通じて行うものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しんきん好配当利回り株マザーファンド」 ・「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」 ・「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」 ・我が国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)の不動産投資信託証券 <p>④外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤投資信託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
主投資制限	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②同一銘柄の投資信託証券への投資は、原則として投資信託財産の純資産総額の50%以下とします。なお、不動産投資信託証券については、同一銘柄の投資比率を、投資信託財産の純資産総額の30%以下とします。</p> <p>③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
収益分配方針	<p>毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。</p> <p>②分配金は、利子・配当収益等を中心に安定した収益分配を行うことを目指し、委託者が基準価額等を勘案し決定します。</p>

運用報告書(全体版)

しんきん3資産ファンド (毎月決算型)

第221期(決算日:2023年10月20日)
 第222期(決算日:2023年11月20日)
 第223期(決算日:2023年12月20日)
 第224期(決算日:2024年1月22日)
 第225期(決算日:2024年2月20日)
 第226期(決算日:2024年3月21日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん3資産ファンド(毎月決算型)」は2024年3月21日に第226期の決算を行いました。

ここに、第221期から第226期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
 <コールセンター> ☎ 0120-781812
 (土日、休日を除く) 携帯電話からは03-5524-8181
 9:00~17:00

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	頁
最近30期の運用実績	1
当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
当作成期中（第221期～第226期）の運用経過等	3
1万口当たりの費用明細	9
売買及び取引の状況	11
株式売買比率	12
利害関係人との取引状況等	12
第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況	12
自社による当ファンドの設定・解約状況	12
組入資産の明細	13
投資信託財産の構成	15
資産、負債、元本及び基準価額の状況	15
損益の状況	16
分配金のお知らせ	17
◇参考情報	
親投資信託の組入資産の明細	18
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん好配当利回り株マザーファンド	22
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	31
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	40

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			株組入比率	債券組入比率	投資信託組入比率	純資産総額
	(分配落)	税分 込 分	み 金 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
197期(2021年10月20日)	8,214	30	0.8	33.0	32.9	32.3	62,491
198期(2021年11月22日)	8,066	30	△1.4	33.0	33.1	32.3	61,359
199期(2021年12月20日)	7,901	30	△1.7	32.7	33.4	32.5	60,327
200期(2022年1月20日)	7,695	30	△2.2	33.7	33.5	31.3	58,901
201期(2022年2月21日)	7,749	30	1.1	33.7	32.8	32.2	59,511
202期(2022年3月22日)	7,873	30	2.0	33.3	32.0	33.2	60,525
203期(2022年4月20日)	7,930	30	1.1	32.9	32.7	32.6	61,110
204期(2022年5月20日)	7,844	30	△0.7	33.0	32.1	33.1	60,490
205期(2022年6月20日)	7,726	30	△1.1	33.3	33.0	32.2	59,818
206期(2022年7月20日)	8,013	30	4.1	33.8	32.5	32.4	62,366
207期(2022年8月22日)	8,062	30	1.0	33.9	32.1	32.9	63,018
208期(2022年9月20日)	8,026	30	△0.1	33.5	32.4	32.7	63,002
209期(2022年10月20日)	7,748	30	△3.1	33.1	33.1	32.0	61,195
210期(2022年11月21日)	7,895	30	2.3	33.4	32.2	32.9	62,982
211期(2022年12月20日)	7,588	30	△3.5	34.2	32.7	31.9	60,771
212期(2023年1月20日)	7,484	30	△1.0	34.1	32.8	31.9	60,404
213期(2023年2月20日)	7,671	30	2.9	34.7	32.3	31.8	62,215
214期(2023年3月20日)	7,451	30	△2.5	33.7	33.3	31.6	60,742
215期(2023年4月20日)	7,747	30	4.4	33.6	32.3	32.4	63,588
216期(2023年5月22日)	7,978	30	3.4	33.9	31.9	32.4	65,384
217期(2023年6月20日)	8,108	30	2.0	33.9	32.9	31.8	65,699
218期(2023年7月20日)	8,116	30	0.5	33.9	33.0	32.0	65,774
219期(2023年8月21日)	8,093	30	0.1	33.8	33.3	31.7	65,555
220期(2023年9月20日)	8,367	30	3.8	34.9	32.5	31.4	67,240
221期(2023年10月20日)	8,081	30	△3.1	32.5	32.7	33.1	64,697
222期(2023年11月20日)	8,316	30	3.3	32.8	32.7	32.8	65,885
223期(2023年12月20日)	8,207	30	△0.9	33.0	33.1	32.8	63,549
224期(2024年1月22日)	8,520	30	4.2	33.5	32.1	33.0	64,824
225期(2024年2月20日)	8,392	30	△1.2	34.1	33.2	31.3	63,109
226期(2024年3月21日)	8,733	30	4.4	33.1	32.0	33.4	65,015

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは3つの異なる資産(国内株式・外国債券・国内不動産投資信託)に分散投資を行うことで投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		株 組 入 比 率	債 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第221期	(期 首) 2023年9月20日	円 8,367	% -	% 34.9	% 32.5	% 31.4	
	9月末	8,278	△1.1	34.2	32.6	31.5	
	(期 末) 2023年10月20日	8,111	△3.1	32.5	32.7	33.1	
第222期	(期 首) 2023年10月20日	8,081	-	32.5	32.7	33.1	
	10月末	8,085	0.0	32.3	32.7	33.0	
	(期 末) 2023年11月20日	8,346	3.3	32.8	32.7	32.8	
第223期	(期 首) 2023年11月20日	8,316	-	32.8	32.7	32.8	
	11月末	8,330	0.2	32.8	32.7	33.1	
	(期 末) 2023年12月20日	8,237	△0.9	33.0	33.1	32.8	
第224期	(期 首) 2023年12月20日	8,207	-	33.0	33.1	32.8	
	12月末	8,252	0.5	33.0	32.3	32.9	
	(期 末) 2024年1月22日	8,550	4.2	33.5	32.1	33.0	
第225期	(期 首) 2024年1月22日	8,520	-	33.5	32.1	33.0	
	1月末	8,476	△0.5	33.7	32.3	32.4	
	(期 末) 2024年2月20日	8,422	△1.2	34.1	33.2	31.3	
第226期	(期 首) 2024年2月20日	8,392	-	34.1	33.2	31.3	
	2月末	8,438	0.5	33.1	32.6	32.8	
	(期 末) 2024年3月21日	8,763	4.4	33.1	32.0	33.4	

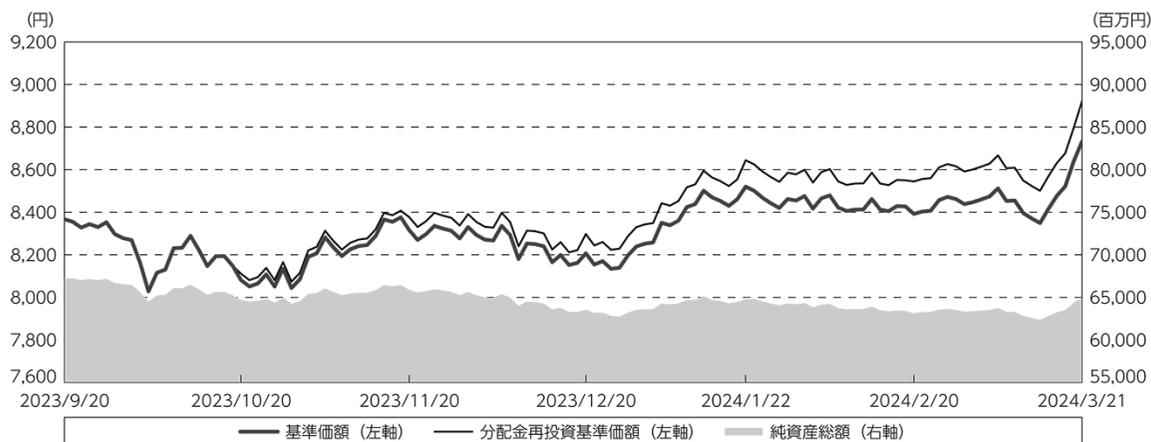
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当作成期中（第221期～第226期）の運用経過等（2023年9月21日～2024年3月21日）

<当作成期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドは、3つの異なる資産(国内株式・外国債券・国内不動産投資信託)に分散投資を行うことで、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指しています。

当作成期における当ファンドの基準価額は上昇しました。

組入銘柄の上昇を背景とした「しんきん好配当利回り株マザーファンド」の基準価額の上昇、欧州主要国金利の低下を背景とした「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の基準価額の上昇、米国金利の低下を背景とした「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の基準価額の上昇がプラスに寄与しました。一方、組み入れている国内不動産投資信託の下落がマイナスに寄与しました。

基準価額変動要因

第220期末基準価額		8,367円
要因	国内株式	493円
	外国債券 (うち為替要因)	194円 (88円)
	国内不動産投信	△40円
	小計	647円
分配金		△180円
その他変動要因(信託報酬含む)		△101円
第226期末基準価額		8,733円

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

また、各資産の主な変動要因は、以下のとおりです。

国内株式

<上昇要因>

- ・国内企業の資本効率改善や業績拡大への期待が高まったこと。
- ・日銀の金融政策修正後も緩和的な金融環境が継続するとの思わくが優勢となったこと。

<下落要因>

- ・日銀のマイナス金利解除などの金融政策修正に対する懸念が高まったこと。
- ・イスラエルとハマスの紛争が勃発し、中東情勢が悪化したこと。

外国債券

<上昇要因>

- ・欧州でのインフレ鈍化などにより、欧州中央銀行(ＥＣＢ)の利上げ終了観測が高まったことから、欧州主要国の金利が低下し、欧州債券価格が上昇したこと。
- ・米国でのインフレ鈍化などにより、米連邦準備制度理事会(ＦＲＢ)の利上げ終了観測が高まったことから、米国の金利が低下し、米国債券価格が上昇したこと。
- ・日欧金利差と日米金利差が意識され、ユーロとドルが対円で上昇したこと。

<下落要因>

- ・ＥＣＢ高官のタカ派的な発言などにより、政策金利がより長期にわたって高水準で維持される公算が大きいとの見方が広がったことから、欧州主要国の金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。
- ・米連邦公開市場委員会(ＦＯＭＣ)参加者の金利予測分布図などを受け、ＦＲＢが政策金利を長期間高水準で維持するとの見方が広がったことから、米国の金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。
- ・日銀による早期のマイナス金利解除観測が高まり、ユーロとドルが対円で下落したこと。

国内不動産投資信託

<上昇要因>

- ・日銀のマイナス金利解除が市場で織り込まれ、金融政策の不透明感が一旦後退したこと。
- ・日銀の金融政策修正後も緩和的な金融環境が継続するとの思わくが優勢となったこと。
- ・割安感などに着目した買いが入ったこと。

＜下落要因＞

- ・新NISA（少額投資非課税制度）への乗り換えに向けた個人投資家などによる毎月決算型不動産投資信託の解約が増加したこと。
- ・Jリート市場の先安観を意識した国内金融機関の決算期末に向けた売りの前倒しがあったこと。

＜投資環境＞

（国内株式市況）

国内株式市場は、上昇しました。

当作成期初から2023年10月は、FRBの金融引締め長期化観測が高まったことや日銀の金融政策修正観測、イスラエルとハマスの紛争が勃発し、中東情勢が悪化したことなどにより、国内株式市場は下落しました。その後、国内企業の7～9月期決算が好調であったことや、米労働市場の減速やインフレの鈍化を示唆する経済指標などを受け、FRBの利上げ終了観測が高まったことなどにより、上昇に転じましたが、12月末にかけて、高値を警戒した利益確定売りが重しとなり、一進一退の動きとなりました。2024年1月から当作成期末にかけては、日銀のマイナス金利解除などの金融政策修正に対する懸念が重しとなる場面もありましたが、国内企業の資本効率改善や業績拡大への期待、金融政策修正後も緩和的な金融環境が継続するとの思わくが優勢となったことなどを受け、上昇基調で推移しました。

（海外債券市況）

ドイツ10年国債金利は、低下しました。

当作成期初から2023年10月中旬は、イスラエルとハマスの紛争が勃発し、安全資産とされる債券に買いが広がり、ドイツ10年国債金利は低下する局面はありましたが、ECB高官のタカ派的な発言などにより、政策金利がより長期にわたって高水準で維持される公算が大きいとの見方が広がったことや、米国債金利の上昇が欧州債券市場にも波及し、上昇しました。その後、12月末にかけて、米国で利上げ終了や早期利下げの観測が高まったことを背景とする米国債金利の低下の流れが欧州債券市場にも波及したことや、ドイツ等のインフレ指標がインフレの鈍化傾向を示し、ECBによる利上げ終了や早期利下げ観測も高まったことにより、低下基調で推移しました。2024年1月から当作成期末にかけては、ECBによる早期利下げ観測が後退したことや、米国の早期利下げ期待が後退したことを背景とする米国債金利の上昇が欧州債券市場にも波及したことを受け、上昇しました。

米国10年国債金利は、低下しました。

当作成期初から2023年10月中旬は、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で、追加利上げの可能性に加え、参加者の金利予測分布図において高金利を長期にわたり維持する見通しが示されたこと、また米国の雇用やインフレ指標などが市場予想を上回り、FRBが政策金利を長期間高水準で維持するとの見方が広がったことや米国国債の発行増額による需給悪化懸念などを受け、米国10年国債金利は上昇しました。その後、12月末にかけて、米財務省が発表した四半期国債発行計画での発行の増額規模が市場予想を下回り、米国国債の需給悪化懸念が後退したことや、米インフレが鈍化傾向を示す中、FRBがハト派的な姿勢を示し、利上げ停止と早期利下げ期待が高まったことから、低下基調で推移しました。2024年1月から当作成期末にかけて米国10年国債金利は、一部米国の地銀の経営不安などを受け、低下する局面はありましたが、FRB高官による市場の早期利下げ観測をけん制する発言や堅調な米経済指標が相次いだことから、早期利下げ期待が後退し、上昇しました。

（為替相場）

ユーロ円市場は、対円で上昇しました。

当作成期初から2023年11月は、植田日銀総裁がハト派的な姿勢を示し、欧州と日本の金利差が意識されたこ

となどにより、円安が進行しましたが、12月に、日銀による早期のマイナス金利解除観測が高まったことや、ユーロ圏の景気不透明感やインフレ鈍化を受け、ECBによる早期利下げ観測が高まったことから、円高が進行しました。2024年1月から当作成期末にかけては、ECBによる早期利下げ観測が後退したことや、日銀の金融政策修正後も緩和的な金融政策が継続するとの思わくが優勢となったことを受け、円安基調で推移しました。

米ドル円市場は、対円で上昇しました。

当作成期初から2023年11月中旬は、FRBの金融引締め長期化観測が高まり、米国金利が上昇したことなどにより、円安が進行しましたが、その後、FRBの利上げ停止と早期利下げ期待が高まったことなどから、12月末にかけて円高基調で推移しました。2024年1月から当作成期末にかけては、日銀の金融政策修正観測が高まり円高が進行する局面はありましたが、FRBの早期利下げ期待が後退し、米国金利が上昇したことや、日銀の金融政策修正後も緩和的な金融政策が継続するとの思わくが優勢となったことを受け、円安が進行しました。

(国内不動産投資信託市況)

国内不動産投資信託市場（Jリート市場）は、下落しました。

当作成期初から2023年12月は、日銀の金融政策修正観測が高まったことや2024年から始まる新NISA（少額投資非課税制度）への乗り換えに向けた、個人投資家による毎月分配型不動産投資信託の解約増加などから、Jリート市場は下落基調で推移しました。2024年1月に、割安感などに着目した買いなどから、一旦反発する局面はありましたが、3月上旬にかけて、日銀のマイナス金利解除などの金融政策修正が意識される中、海外投資家による売り、Jリート市場の先安観を意識した国内金融機関の決算期末に向けた売りの前倒し、個人投資家による毎月決算型不動産投資信託の解約に伴う売りが重なり、大きく下落しました。その後、当作成期末にかけては、日銀のマイナス金利解除が市場で織り込まれ、金融政策の不透明感が一旦後退し、金融政策修正後も緩和的な金融環境が継続するとの思わくが優勢となる中、割安感などに着目した買いが入り、大きく上昇しました。

<当ファンドのポートフォリオ>

親投資信託である「しんきん好配当利回り株マザーファンド」、「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」および「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券ならびに我が国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券への投資を通じ、国内株式、外国債券および国内不動産投資信託それぞれの実質組入比率がおおむね3分の1程度となるように調整しています。

国内株式

●しんきん好配当利回り株マザーファンド

設定・解約に伴い現物株式を売買したほか、ファンドの運用方針に従い、①予想配当利回り、②企業業績、③時価総額、④財務の健全性の4項目により投資対象銘柄を絞り込み、個別銘柄の入替えなどを必要に応じて実施しました。当作成期末時点の組入銘柄数は、87銘柄、保有銘柄の予想平均配当利回りは、2.96%（時価ベース。日経予想・会社予想より、しんきん投信算出。）となっています。当マザーファンドにおける株式の組入比率は、当作成期中おおむね95%以上の高位を保ち、当作成期末には99.4%となっています。

外国債券

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州ソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、

オーストラリア、オランダおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構成しています。各投資国の国債インデックスに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債等の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）を組み入れています。

国内不動産投資信託

銘柄選定にあたっては、①財務の健全性、②収益性および分配金利回り、③流動性および価格水準に着目し、各銘柄の比率は、時価総額比率をベースに銘柄選定における前記3つの観点を勘案し調整しました。当作成期末時点では、インバウンドの増加などにより業績好調なホテル系リートやファンダメンタルズが比較的良好で割安感のある物流施設系リートなどを多めに保有する一方、2025年に新規オフィスの大量供給を控えるオフィス系リートなどを少なめにしています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドは3つの異なる資産（国内株式・外国債券・国内不動産投資信託）に分散投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

<分配金>

収益分配金については、経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第221期から第226期は、各期30円（それぞれ1万口当たり、税込み）とし、当作成期の合計は180円としました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第221期	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期
	2023年9月21日～ 2023年10月20日	2023年10月21日～ 2023年11月20日	2023年11月21日～ 2023年12月20日	2023年12月21日～ 2024年1月22日	2024年1月23日～ 2024年2月20日	2024年2月21日～ 2024年3月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.370%	30 0.359%	30 0.364%	30 0.351%	30 0.356%	30 0.342%
当期の収益	30	11	8	30	9	30
当期の収益以外	—	18	21	—	20	—
翌期繰越分配対象額	660	643	622	808	788	1,021

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、親投資信託である「しんきん好配当利回り株マザーファンド」、「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」および「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券ならびに我が国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券への投資を通じ、国内株式、外国債券および国内不動産投資信託それぞれの実質組入比率がおおむね3分の1程度となるように調整していきます。

国内株式

●しんきん好配当利回り株マザーファンド

主として予想配当利回りが市場平均を上回ると判断できる株式に投資し、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標として運用を行います。

外国債券

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

F T S E E M U 国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、主として欧州経済通貨同盟（E M U）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

F T S E 米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

国内不動産投資信託

①財務の健全性、②収益性および分配金利回り、③流動性および価格水準に着目した銘柄選定を行い、各銘柄の比率は、時価総額比率をベースに銘柄選定における前記3つの観点を勘案し調整します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月21日～2024年3月21日)

項 目	第221期～第226期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 43	% 0.522	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(20)	(0.237)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.247)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.012	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(1)	(0.012)	
(c) そ の 他 費 用	1	0.008	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	45	0.542	
作成期間の平均基準価額は、8,309円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

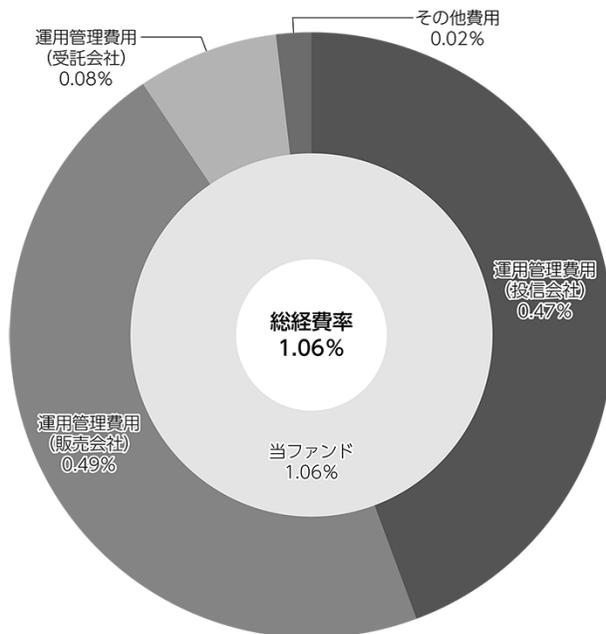
(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.06%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月21日～2024年3月21日)

投資信託証券

銘柄		第221期～第226期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国	サンケイリアルエステート投資法人	0.2	18,783	0.1	8,705
	日本アコモデーションファンド投資法人	0.36	221,924	—	—
	森ヒルズリート投資法人	0.07	9,955	0.2	28,415
	産業ファンド投資法人	1.5	192,856	—	—
	アドバンス・レジデンス投資法人	0.35	117,216	0.14	45,527
	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	0.85 (△ 2,483)	193,303 (△ 545,763)	—	—
	アクティビア・プロパティーズ投資法人	0.35	144,146	0.06	23,425
	GLP投資法人	3.05	418,486	1.1	150,118
	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	0.905	288,865	0.06	18,884
	日本プロロジスリート投資法人	1.53	406,467	0.04	10,617
	星野リゾート・リート投資法人	0.05	31,522	0.01	5,637
	イオンリート投資法人	0.25	36,834	0.02	2,721
	ヒューリックリート投資法人	0.8	127,031	1.32	202,907
	日本リート投資法人	0.455	157,220	0.37	126,955
	積水ハウス・リート投資法人	0.5	40,479	0.2	15,388
	ケネディクス商業リート投資法人	0.745 (△ 1,595)	216,329 (△ 448,833)	—	—
	野村不動産マスターファンド投資法人	0.45	72,935	0.15	21,543
	ラサールロジポート投資法人	0.25	37,811	—	—
	スターアジア不動産投資法人	0.84	47,860	—	—
	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	0.83	381,916	—	—
	三菱地所物流リート投資法人	0.02	7,677	0.01	3,759
	CREロジスティクスファンド投資法人	0.02	3,291	0.2	31,750
	アドバンス・ロジスティクス投資法人	—	—	0.096	11,675
	日本ビルファンド投資法人	0.29	171,026	0.18	105,786
	ジャパンリアルエステイト投資法人	0.24	132,536	0.705	402,087
	日本都市ファンド投資法人	0.65	63,207	0.2	18,286
	オリックス不動産投資法人	1.05	181,611	2.425	409,465
	日本プライムリアルティ投資法人	0.1	36,082	—	—
	NTT都市開発リート投資法人	0.3	37,718	0.05	5,941
	東急リアル・エステート投資法人	1.23	205,888	1.15	185,440
	ユナイテッド・アーバン投資法人	—	—	1.52	229,128
	森トラストリート投資法人	1	73,970	—	—
	インヴィンシブル投資法人	5.25	314,266	5.22	316,191
平和不動産リート投資法人	0.83	112,217	0.8	113,010	
日本ロジスティクスファンド投資法人	0.285	81,947	0.19	52,564	
福岡リート投資法人	—	—	0.37	58,334	
KDX不動産投資法人	0.3 (7,856)	103,806 (994,596)	3.66	591,742	
大和証券オフィス投資法人	0.335	222,491	0.292	183,576	
大和ハウスリート投資法人	0.6	153,288	0.1	25,278	
ジャパン・ホテル・リート投資法人	6.7	470,051	10.89	818,759	
大和証券リビング投資法人	0.92	98,818	—	—	
ジャパンエクセレント投資法人	0.25	33,702	0.06	7,440	
合 計	34.705 (3.778)	5,665,550 (—)	31.888	4,231,067	

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第221期～第226期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
しんきん好配当利回り株マザーファンド	—	—	1,423,754	5,220,000
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	—	—	809,475	1,390,000
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	—	—	528,215	1,110,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年9月21日～2024年3月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第221期～第226期	
	しんきん好配当利回り株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	9,984,292千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	34,138,827千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.29	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月21日～2024年3月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年9月21日～2024年3月21日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年9月21日～2024年3月21日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年3月21日現在)

国内投資信託証券

銘柄	第220期末		第226期末	
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
サンケイリアルエステート投資法人	0.6	0.7	62,720	0.1
日本アコモデーションファンド投資法人	0.37	0.73	467,200	0.7
森ヒルズリート投資法人	1.784	1.654	230,402	0.4
産業ファンド投資法人	1.722	3.222	446,569	0.7
アドバンス・レジデンス投資法人	1.843	2.053	693,914	1.1
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	1.633	—	—	—
アクティブア・プロパティーズ投資法人	0.539	0.829	332,014	0.5
GLP投資法人	6.481	8.431	1,088,442	1.7
コンフォリア・レジデンシャル投資法人	0.872	1.717	561,459	0.9
日本プロロジスリート投資法人	3.392	4.882	1,309,840	2.0
星野リゾート・リート投資法人	0.345	0.385	219,450	0.3
イオンリート投資法人	2.356	2.586	359,712	0.6
ヒューリックリート投資法人	2.503	1.983	301,019	0.5
日本リート投資法人	0.905	0.99	346,005	0.5
積水ハウス・リート投資法人	4.566	4.866	396,092	0.6
ケネディクス商業リート投資法人	0.85	—	—	—
野村不動産マスターファンド投資法人	6.479	6.779	1,024,984	1.6
ラサールロジポート投資法人	2.434	2.684	420,851	0.6
スターアジア不動産投資法人	3.05	3.89	223,286	0.3
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	0.736	1.566	718,794	1.1
三菱地所物流リート投資法人	0.717	0.727	280,985	0.4
CREロジスティクスファンド投資法人	1.092	0.912	137,438	0.2
アドバンス・ロジスティクス投資法人	0.096	—	—	—
日本ビルファンド投資法人	2.331	2.441	1,493,892	2.3
ジャパンリアルエステイト投資法人	2.614	2.149	1,186,248	1.8
日本都市ファンド投資法人	9.62	10.07	950,608	1.5
オリックス不動産投資法人	5.571	4.196	685,626	1.1
日本プライムリアルティ投資法人	1.34	1.44	477,360	0.7
NIT都市開発リート投資法人	1.897	2.147	261,504	0.4
東急リアル・エステート投資法人	2.593	2.673	434,629	0.7
ユナイテッド・アーバン投資法人	7.781	6.261	957,933	1.5
森トラストリート投資法人	—	1	72,600	0.1
インヴィンシブル投資法人	14.863	14.893	1,014,213	1.6
フロンティア不動産投資法人	0.284	0.284	129,078	0.2
平和不動産リート投資法人	2.329	2.359	329,552	0.5
日本ロジスティクスファンド投資法人	2.013	2.108	589,396	0.9
福岡リート投資法人	0.37	—	—	—
KDX不動産投資法人	1.55	6.046	931,084	1.4
大和証券オフィス投資法人	0.396	0.439	257,693	0.4
大和ハウスリート投資法人	2.65	3.15	810,495	1.2
ジャパン・ホテル・リート投資法人	15.255	11.065	874,135	1.3
大和証券リビング投資法人	2.757	3.677	397,116	0.6
ジャパンエクセレント投資法人	1.65	1.84	235,152	0.4
合計	123.229	129.824	21,709,498	
	銘柄数<比率>	39	<33.4%>	

(注1) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 一印は組み入れなし。

親投資信託残高

銘	柄	第220期末	第226期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
しんきん好配当利回り株マザーファンド		6,658,204	5,234,450	21,622,991
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		6,708,875	5,899,400	10,640,748
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		5,354,587	4,826,371	10,506,528

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「参考情報」または「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年3月21日現在)

項 目	第226期末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 21,709,498	% 33.0
しんきん好配当利回り株マザーファンド	21,622,991	32.8
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	10,640,748	16.2
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	10,506,528	16.0
コール・ローン等、その他	1,347,900	2.0
投資信託財産総額	65,827,665	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(13,885,658千円)の投資信託財産総額(13,955,282千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(13,779,732千円)の投資信託財産総額(13,867,108千円)に対する比率は99.4%です。

(注4) 外貨建資産は、当作成期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年3月21日現在、1ドル=150.79円、1ユーロ=164.81円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第221期末	第222期末	第223期末	第224期末	第225期末	第226期末
	2023年10月20日現在	2023年11月20日現在	2023年12月20日現在	2024年1月22日現在	2024年2月20日現在	2024年3月21日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	66,046,124,883	66,525,974,739	64,058,242,072	65,289,256,148	63,486,366,311	65,827,665,373
コール・ローン等	313,085,534	166,331,880	281,760,048	215,795,040	231,237,126	153,877,315
投資証券(評価額)	21,433,382,800	21,621,751,400	20,821,678,200	21,374,811,700	19,738,932,900	21,709,498,100
しんきん好配当利回り株マザーファンド(評価額)	21,358,864,867	21,994,537,865	21,019,529,964	21,811,053,052	21,627,566,206	21,622,991,244
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	10,792,886,882	10,992,519,229	10,711,751,974	10,486,302,690	10,483,929,418	10,640,748,182
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	10,707,788,135	10,939,442,304	10,627,154,812	10,708,841,999	10,765,959,806	10,506,528,732
未収入金	1,260,000,000	653,637,924	481,700,936	500,000,000	440,000,000	938,713,486
未収配当金	180,116,665	157,754,137	114,666,138	192,451,667	198,740,855	255,308,313
未収利息	—	—	—	—	—	1
(B) 負債	1,348,220,358	640,484,393	508,725,460	464,841,038	377,249,332	812,633,820
未払金	958,105,714	185,883,683	—	—	—	434,851,470
未払収益分配金	240,172,300	237,684,703	232,303,835	228,250,928	225,612,602	223,351,388
未払解約金	93,075,041	158,866,531	220,667,198	176,137,481	98,511,117	99,984,978
未払信託報酬	56,662,115	57,846,598	55,556,120	60,255,060	52,930,434	54,251,219
未払利息	634	134	28	632	495	—
その他未払費用	204,554	202,744	198,279	196,937	194,684	194,765
(C) 純資産総額(A-B)	64,697,904,525	65,885,490,346	63,549,516,612	64,824,415,110	63,109,116,979	65,015,031,553
元本	80,057,433,460	79,228,234,405	77,434,611,808	76,083,642,824	75,204,200,790	74,450,462,863
次期繰越損益金	△15,359,528,935	△13,342,744,059	△13,885,095,196	△11,259,227,714	△12,095,083,811	△9,435,431,310
(D) 受益権総口数	80,057,433,460口	79,228,234,405口	77,434,611,808口	76,083,642,824口	75,204,200,790口	74,450,462,863口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,081円	8,316円	8,207円	8,520円	8,392円	8,733円

(注1) 当ファンドの第221期首元本額は80,367,551,530円、当作成期中(第221期～第226期)における追加設定元本額は、3,580,543,080円、同一部解約元本額は9,497,631,747円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第221期0.8081円、第222期0.8316円、第223期0.8207円、第224期0.8520円、第225期0.8392円、第226期0.8733円です。

○損益の状況

項 目	第221期	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期
	2023年9月21日～ 2023年10月20日	2023年10月21日～ 2023年11月20日	2023年11月21日～ 2023年12月20日	2023年12月21日～ 2024年1月22日	2024年1月23日～ 2024年2月20日	2024年2月21日～ 2024年3月21日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	38,392,845	50,744,991	65,431,901	114,780,748	84,231,281	138,934,065
受取配当金	38,399,356	50,754,622	65,444,425	114,811,359	84,248,654	138,953,756
受取利息	-	-	-	-	-	1
支払利息	△ 6,511	△ 9,631	△ 12,524	△ 30,611	△ 17,373	△ 19,692
(B) 有価証券売買損益	△ 2,019,524,549	2,094,537,243	△ 625,175,523	2,551,906,331	△ 773,009,771	2,672,489,808
売買益	57,806,027	2,238,005,456	207,004,439	2,606,614,953	875,971,995	2,686,209,806
売買損	△ 2,077,330,576	△ 143,468,213	△ 832,179,962	△ 54,708,622	△ 1,648,981,766	△ 13,719,998
(C) 信託報酬等	△ 56,875,959	△ 58,054,845	△ 55,761,223	△ 60,458,192	△ 53,125,833	△ 54,448,011
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 2,038,007,663	2,087,227,389	△ 615,504,845	2,606,228,887	△ 741,904,323	2,756,975,862
(E) 前期繰越損益金	3,322,015,526	1,027,966,884	2,795,141,378	1,903,050,675	4,210,821,591	3,195,550,905
(F) 追加信託差損益金	△16,403,364,498	△16,220,253,629	△15,832,427,894	△15,540,256,348	△15,338,388,477	△15,164,606,689
(配当等相当額)	(1,892,049,122)	(1,899,969,323)	(1,882,845,974)	(1,871,558,656)	(1,874,371,175)	(1,878,370,426)
(売買損益相当額)	(△18,295,413,620)	(△18,120,222,952)	(△17,715,273,868)	(△17,411,815,004)	(△17,212,759,652)	(△17,042,977,115)
(G) 計 (D+E+F)	△15,119,356,635	△13,105,059,356	△13,652,791,361	△11,030,976,786	△11,869,471,209	△ 9,212,079,922
(H) 収益分配金	△ 240,172,300	△ 237,684,703	△ 232,303,835	△ 228,250,928	△ 225,612,602	△ 223,351,388
次期繰越損益金 (G+H)	△15,359,528,935	△13,342,744,059	△13,885,095,196	△11,259,227,714	△12,095,083,811	△ 9,435,431,310
追加信託差損益金	△16,403,364,498	△16,220,253,629	△15,832,427,894	△15,540,256,348	△15,338,388,477	△15,164,606,689
(配当等相当額)	(1,894,006,166)	(1,900,084,503)	(1,882,985,869)	(1,871,952,843)	(1,874,459,411)	(1,878,447,320)
(売買損益相当額)	(△18,297,370,664)	(△18,120,338,132)	(△17,715,413,763)	(△17,412,209,191)	(△17,212,847,888)	(△17,043,054,009)
分配準備積立金	3,396,795,152	3,195,495,542	2,933,711,446	4,281,028,634	4,057,783,022	5,729,175,379
繰越損益金	△ 2,352,959,589	△ 317,985,972	△ 986,378,748	-	△ 814,478,356	-

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第221期計算期間末における費用控除後の配当等収益(314,951,926円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,894,006,166円)および分配準備積立金(3,322,015,526円)より分配対象収益は5,530,973,618円(10,000口当たり690円)であり、うち240,172,300円(10,000口当たり30円)を分配金額としています。

第222期計算期間末における費用控除後の配当等収益(94,290,357円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,900,084,503円)および分配準備積立金(3,338,889,888円)より分配対象収益は5,333,264,748円(10,000口当たり673円)であり、うち237,684,703円(10,000口当たり30円)を分配金額としています。

第223期計算期間末における費用控除後の配当等収益(62,635,201円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,882,985,869円)および分配準備積立金(3,103,380,080円)より分配対象収益は5,049,001,150円(10,000口当たり652円)であり、うち232,303,835円(10,000口当たり30円)を分配金額としています。

第224期計算期間末における費用控除後の配当等収益(205,666,889円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(1,438,492,927円)、信託約款に規定する収益調整金(1,874,459,411円)および分配準備積立金(2,865,119,746円)より分配対象収益は6,381,232,405円(10,000口当たり838円)であり、うち228,250,928円(10,000口当たり30円)を分配金額としています。

第225期計算期間末における費用控除後の配当等収益(72,574,033円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,874,459,411円)および分配準備積立金(4,210,821,591円)より分配対象収益は6,157,855,035円(10,000口当たり818円)であり、うち225,612,602円(10,000口当たり30円)を分配金額としています。

第226期計算期間末における費用控除後の配当等収益(176,841,830円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(1,778,306,100円)、信託約款に規定する収益調整金(1,878,447,320円)および分配準備積立金(3,997,378,837円)より分配対象収益は7,830,974,087円(10,000口当たり1,051円)であり、うち223,351,388円(10,000口当たり30円)を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

	第221期	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期
1 万口当たり分配金 (税込み)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、各決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

(注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金(特別分配金)」、残りの部分が「普通分配金」となります。

(注2) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に各受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の各受益者の個別元本となります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2024年3月21日現在）

<しんきん欧州ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド全体(7,737,201千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	第226期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	21,450	22,129	3,647,139	26.1	—	16.9	5.6	3.6
フランス	29,150	28,518	4,700,131	33.7	—	23.4	6.7	3.6
オランダ	5,800	5,164	851,151	6.1	—	5.1	1.0	—
スペイン	17,000	16,877	2,781,647	19.9	—	14.8	4.0	1.2
ベルギー	6,400	6,100	1,005,354	7.2	—	6.1	0.7	0.5
オーストリア	4,650	4,107	677,012	4.9	—	2.8	1.3	0.7
合計	84,450	82,898	13,662,438	97.9	—	69.1	19.3	9.5

(注1) 邦貨換算金額は、2024年3月21日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) 一印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第226期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千円		
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	2,300	1,935	319,010	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,200	1,982	326,795	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,300	2,199	362,435	2026/2/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	900	873	143,968	2025/8/15
		DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,100	2,941	484,731	2032/8/15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	1,650	1,799	296,535	2042/7/4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,400	3,933	648,318	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,500	2,726	449,284	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	3,100	3,738	616,060	2034/7/4
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,500	2,031	334,762	2031/11/25
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	2,800	2,708	446,396	2025/5/25
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	2,550	2,413	397,739	2027/5/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	2,300	1,969	324,631	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	1,600	1,317	217,148	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,700	2,488	410,165	2031/5/25
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	300	299	49,284	2024/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	2,400	2,373	391,182	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,298	543,607	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	2,900	2,903	478,516	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,900	3,209	528,946	2038/10/25
		FRTR 4.500 04/25/41	4.5	700	822	135,625	2041/4/25
FRTR 5.750 10/25/32	5.75	2,200	2,682	442,125	2032/10/25		
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	413	68,203	2031/7/15

銘柄			第226期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
オランダ	国債証券	NETHER 0.250 07/15/29	0.25	500	442	72,907	2029/7/15
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,400	990	163,315	2040/1/15
		NETHER 0.500 07/15/26	0.5	100	94	15,630	2026/7/15
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	800	751	123,919	2027/7/15
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	2,500	2,470	407,175	2033/1/15
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	3,700	3,315	546,361	2029/7/30
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	2,000	1,913	315,400	2027/4/30
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	1,500	1,465	241,484	2026/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	3,000	2,828	466,089	2030/7/30
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,000	984	162,263	2025/10/31
		SPGB 2.350 07/30/33	2.35	400	373	61,618	2033/7/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	2,700	2,921	481,474	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,700	3,076	506,955	2041/7/30
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	400	387	63,887	2025/6/22
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	600	563	92,923	2027/6/22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	1,200	1,096	180,731	2029/6/22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,500	1,081	178,316	2047/6/22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,300	1,307	215,551	2034/6/22
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,400	1,662	273,944	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	250	206	34,038	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	500	466	76,824	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	700	648	106,933	2028/2/20
		RAGB 1.200 10/20/25	1.2	600	582	95,955	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,300	961	158,448	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,300	1,242	204,811	2034/5/23
合計						13,662,438	

(注1) 邦貨換算金額は、2024年3月21日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

<しんきん米国ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド全体(6,370,059千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第226期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	101,450	90,671	13,672,302	98.6	—	45.8	19.5	33.3
合 計	101,450	90,671	13,672,302	98.6	—	45.8	19.5	33.3

(注1) 邦貨換算金額は、2024年3月21日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) —印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第226期末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
	%	千ドル	千ドル	千円			
アメリカ							
国債証券							
T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	3,800	2,522	380,307	2041/8/15		
T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	4,300	3,052	460,285	2046/5/15		
T-BOND 3.000 02/15/47	3.0	2,750	2,130	321,193	2047/2/15		
T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	3,600	2,973	448,418	2042/2/15		
T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,700	2,910	438,906	2048/5/15		
T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,500	2,267	341,883	2039/2/15		
T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,501	527,953	2044/2/15		
T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	3,000	2,977	448,994	2040/5/15		
T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,422	365,350	2037/2/15		
T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,147	172,978	2029/2/15		
T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,051	158,494	2026/11/15		
T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,600	1,275	192,379	2030/8/15		
T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	3,450	2,779	419,147	2030/11/15		
T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	4,200	4,067	613,279	2025/1/15		
T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	3,200	2,592	390,960	2031/8/15		
T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	3,800	3,087	465,519	2031/11/15		
T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,600	1,370	206,619	2030/2/15		
T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	3,900	3,688	556,173	2026/2/15		
T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,478	524,513	2026/5/15		
T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	1,900	1,663	250,845	2029/8/15		
T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	4,900	4,713	710,730	2025/8/15		
T-NOTE 2.250 11/15/24	2.25	650	637	96,161	2024/11/15		
T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	4,500	4,323	651,916	2025/11/15		
T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	2,950	2,742	413,535	2027/11/15		
T-NOTE 2.375 08/15/24	2.375	2,900	2,866	432,200	2024/8/15		
T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	1,500	1,446	218,065	2026/1/31		
T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	2,050	1,900	286,563	2029/2/15		
T-NOTE 2.750 02/28/25	2.75	600	587	88,567	2025/2/28		
T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	5,100	4,979	750,824	2025/5/31		

銘 柄			第226期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円	
国債証券	T-NOTE	3.125 11/15/28	3.125	3,400	3,233	487,592	2028/11/15
特殊債券 (除く金融債)	ASIA	1.875 01/24/30	1.875	5,300	4,607	694,693	2030/1/24
	IADB	2.125 01/15/25	2.125	3,400	3,317	500,201	2025/1/15
	IBRD	0.750 11/24/27	0.75	2,200	1,926	290,534	2027/11/24
	IBRD	1.875 10/27/26	1.875	2,600	2,430	366,510	2026/10/27
合 計						13,672,302	

(注1) 邦貨換算金額は、2024年3月21日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

運用報告書

親投資信託

しんきん好配当利回り株マザーファンド

第19期

(決算日：2024年3月21日)

しんきん好配当利回り株マザーファンドの第19期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	<p>①主として予想配当利回りが市場平均を上回ると判断できる株式に投資し、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標とします。</p> <p>②銘柄の選定にあたっては、企業業績、財務健全性、時価総額などを総合的に勘案して決定します。</p> <p>③株式等の組入れは、原則として高位を保ちます。</p> <p>④株式以外の資産の組入比率は通常の場合50%以下とします。</p> <p>⑤投資信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引を行うことができます。</p> <p>⑥資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたときおよびやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。</p>
主要投資対象	我が国の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	<p>①株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>③投資信託証券への投資は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④同一銘柄の株式への投資は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>⑤同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、取得時において投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑥同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>⑦外貨建資産への投資は行いません。</p>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		T O P I X		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	騰 落 率	中 率	(参 考 指 標)	騰 落 率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
15期(2020年3月23日)	15,942	△22.1	1,292.01	△20.0	94.6	—	22,150
16期(2021年3月22日)	24,413	53.1	1,990.18	54.0	97.6	—	30,424
17期(2022年3月22日)	25,142	3.0	1,933.74	△ 2.8	99.3	—	26,971
18期(2023年3月20日)	27,188	8.1	1,929.30	△ 0.2	99.5	—	28,315
19期(2024年3月21日)	41,309	51.9	2,796.21	44.9	99.4	—	36,097

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	率	(参 考 指 標)	騰 落 率		
(期 首) 2023年3月20日	円	%	ポイント	%	%	%
	27,188	—	1,929.30	—	99.5	—
3月末	28,628	5.3	2,003.50	3.8	98.0	—
4月末	29,498	8.5	2,057.48	6.6	98.2	—
5月末	30,159	10.9	2,130.63	10.4	98.2	—
6月末	32,527	19.6	2,288.60	18.6	98.7	—
7月末	33,172	22.0	2,322.56	20.4	98.9	—
8月末	33,821	24.4	2,332.00	20.9	99.2	—
9月末	34,732	27.7	2,323.39	20.4	98.3	—
10月末	33,618	23.7	2,253.72	16.8	98.0	—
11月末	35,243	29.6	2,374.93	23.1	98.3	—
12月末	35,134	29.2	2,366.39	22.7	99.6	—
2024年1月末	38,094	40.1	2,551.10	32.2	98.5	—
2月末	39,493	45.3	2,675.73	38.7	99.4	—
(期 末) 2024年3月21日	41,309	51.9	2,796.21	44.9	99.4	—

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

※東証株価指数 (TOPIX) の指数値及び東証株価指数 (TOPIX) に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数 (TOPIX) に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数 (TOPIX) に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数 (TOPIX) の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

○第19期の運用経過等（2023年3月21日～2024年3月21日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、主として予想配当利回りが市場平均を上回ると判断できる株式に投資し、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標として運用を行っています。

当期の基準価額は上昇しました。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・国内外の企業業績が堅調だったこと。
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを緩めると期待されたこと。
- ・日銀が政策修正後も緩やかな金融政策を継続する姿勢を示したこと。

<下落要因>

- ・米連邦公開市場委員会（FOMC）で高金利を長期にわたり維持する見通しが示されたこと。
- ・イスラエルとハマスの紛争が勃発し中東情勢が悪化したこと。

＜投資環境＞

(2023年3月～5月)

当期の東証株価指数（TOPIX）は、期中安値となる1,929.30ポイントの水準から始まりました。2023年3月の株式市場は、下旬は米国金融機関の経営破綻や欧州大手金融機関の信用不安などによる金融システムへの過度な不安が和らいだことなどから堅調に推移しました。4月は、FRBが近く利上げを停止し、利下げを開始するとの見方が広がったことや、米著名投資家のパフェット氏が日本株への追加投資の検討を表明したことなどから、投資家心理が改善し堅調に推移しました。5月は、日銀が大規模な金融緩和策を継続すると見方が意識される中、国内企業の好調な業績見通しや積極的な自社株買い方針および円安の進行などから堅調に推移しました。

(2023年6月～8月)

6月は、米債務上限問題をめぐる懸念が払拭されたことや、根強い日本株の先高観を背景に堅調に推移しました。7月は、FOMCでパウエルFRB議長が追加の利上げを明言しなかったことや米国のインフレ鈍化を受けて上昇しました。8月は、米国の格付会社が米国国債や米国の中堅銀行を格下げしたことや、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の発言への警戒感から売りが優勢となる場面もありましたが、同会議が終了すると月末にかけては、重要イベントを通過した安心感から買いが優勢となりました。

(2023年9月～11月)

9月は、好調な米経済指標や中国の景気刺激策への期待から買いが優勢となった後、FOMCで高金利を長期にわたり維持する見通しが示され、米10年債利回りが4.5%を超える水準に上昇したことが重しとなり、売りが優勢になりました。10月は、イスラエルとハマスの紛争が勃発し中東情勢が悪化したことや、日銀の金融政策修正などによる国内金利の上昇が投資家心理を圧迫したことなどから低調に推移しました。11月は、米雇用統計を受けFRBの利上げ局面は終了したとの見方が強まり、米国長期金利が低下したことなどから堅調に推移しました。

(2023年12月～2024年3月)

12月は、円高や高値を警戒した利益確定売りが重しとなり軟調に推移しました。2024年1月は、円安の進行や、東証が「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する開示企業一覧表を公表したことで、国内企業の資本効率が改善すると期待から買いが優勢となりました。2月は、内田日銀副総裁が政策修正後も緩和的な金融政策を継続する姿勢を示したことや、国内主要企業の決算が堅調な内容であったこと、米半導体関連企業の好決算を受けて、国内企業の業績も拡大すると期待が高まったことから上昇しました。3月は、日銀の金融政策修正観測が高まったことが嫌気され下落したものの、日米の金融政策に関する会合を無事通過した安心感や円安を受けて上昇し、期末のTOPIXは期中高値となる2,796.21ポイントで終了しました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

(運用経過)

当期の売買については、設定・解約に伴い現物株式を売買したほか、ファンドの運用方針に従い、①予想配当利回り、②企業業績、③時価総額、④財務の健全性の4項目により投資対象銘柄を絞り込み、個別銘柄の入替えなどを必要に応じて実施しました。

株式の組入比率は、おおむね95%以上の高位を保ち、期末には99.4%となっています。

（業種構成）

期首は、東証33業種分類中28業種を組み入れ、T O P I X対比でオーバーウエートとしていた主な業種は、機械、石油・石炭製品、金属製品、ゴム製品および非鉄金属で、アンダーウエートとしている主な業種は、電気機器、食料品、情報・通信業、精密機器およびその他金融業でした。その後は、銘柄の入替えおよび株価の変動に伴い、鉱業、保険業および機械などの業種が増加した一方、電気機器、小売業および医薬品などが減少し、期末現在では29業種を組み入れています。なお、期末現在、T O P I X対比でオーバーウエートとしている主な業種は、機械、石油・石炭製品、金属製品、ゴム製品および非鉄金属で、アンダーウエートとしている主な業種は、電気機器、輸送用機器、食料品、卸売業およびその他金融業です。

（組入銘柄）

期首88銘柄の組入でスタートした後は、上記運用経過のとおり、銘柄の入替えなどを必要に応じて実施し、期末現在の組入銘柄数は87銘柄となっています。期末現在の組入上位10銘柄は大林組、野村ホールディングス、三菱重工業、ENEOSホールディングス、りそなホールディングス、INPEX、日本瓦斯、東京海上ホールディングス、みずほフィナンシャルグループおよび出光興産となっています。なお、期末現在の保有銘柄の予想平均配当利回りは2.96%（時価ベース。日経予想・会社予想より、しんきん投信算出。）となっています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当期の基準価額の期中騰落率は+51.9%となり、参考指標とするT O P I Xの騰落率+44.9%を上回りました。（騰落率差：+7.0%）

<要因分析>

（組入比率）

株式組入比率は、期を通しておおむね95%以上の高位を保ちました。その結果、組入比率による影響は軽微でした。

（業種構成）

期中、市場では、証券、商品先物取引業、輸送用機器、保険業などの業種が大きく上昇した一方で、繊維製品、医薬品、空運業などが小幅に上昇しました。

ファンドでは、相対的に堅調だった証券、商品先物取引業や石油・石炭製品の組入比率が高かったことや、相対的に軟調だった食料品の組入比率が低かったことがプラス要因になりました。一方、相対的に堅調だった輸送用機器や卸売業の組入比率が低かったことや、相対的に軟調だった繊維製品の組入比率が高かったことがマイナス要因になりました。

（個別銘柄）

ファンドの個別銘柄では、S C R E E Nホールディングス、三菱重工業、東京エレクトロン、トヨタ自動車および野村ホールディングスなどが大きく上昇した一方、I D E C、L I X I L、アステラス製薬、マンダムおよびヤマダホールディングスなどが下落しました。

<今後の運用方針>

引き続き運用の基本方針に従い、主として予想配当利回りが市場平均を上回ると判断できる株式に投資し、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標として運用します。株式組入比率は高位を保ち、配当利回りの向上を狙い、個別銘柄の予想配当利回りの推移などを参考に、銘柄の入替えなどを実施します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年3月21日～2024年3月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 1 (1)	% 0.002 (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	1	0.002	
期中の平均基準価額は、33,676円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○ 売買及び取引の状況

(2023年3月21日～2024年3月21日)

株式

国	上場	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
内		千株	千円	千株	千円
		3,594	5,897,883	5,211	11,129,706
		(3,203)	()		

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

○ 株式売買比率

(2023年3月21日～2024年3月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	17,027,590千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	33,400,986千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.50

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年3月21日～2024年3月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月21日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
水産・農林業 (1.0%)			
ホクト	178.4	188.4	354,568
鉱業 (1.2%)			
I N P E X	—	192	443,712
建設業 (2.6%)			
大林組	329.2	275.2	526,044
積水ハウス	124.6	120.6	417,155
食料品 (1.1%)			
キリンホールディングス	165.2	190.9	404,230
繊維製品 (1.1%)			
帝人	238	282.9	398,181
化学 (7.0%)			
クラレ	270	265.7	426,714
三菱ケミカルグループ	421.9	456.4	432,986
三洋化成工業	77	93	406,410
太陽ホールディングス	139	123.4	412,773
マンダム	230.6	304	407,664
日東電工	39.7	29.1	416,712
医薬品 (4.4%)			
武田薬品工業	77.5	91.2	399,547
アステラス製薬	174.1	216.8	363,573
参天製薬	319.8	267.6	389,625
大塚ホールディングス	82.7	67.2	430,617
石油・石炭製品 (2.5%)			
出光興産	109.8	413.2	436,339
E N E O Sホールディングス	714.5	620.2	453,428
ゴム製品 (2.3%)			
横浜ゴム	131.9	101.9	418,707
ブリヂストン	65.4	62.9	414,825

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
ガラス・土石製品 (1.1%)			
A G C	67.6	73.8	409,442
鉄鋼 (2.3%)			
日本製鉄	107	107.6	399,088
丸一鋼管	113.7	100.8	410,558
非鉄金属 (2.3%)			
三井金属鉱業	98.9	87.5	405,562
住友電気工業	200.3	182.4	430,099
金属製品 (2.3%)			
三和ホールディングス	236.6	158.9	424,501
L I X I L	145.9	207.4	401,526
機械 (8.2%)			
アマダ	269.2	240	433,920
小松製作所	99.9	92.6	426,515
SANKYO	61	231.6	392,562
マックス	156.3	124.9	414,668
日本精工	449.7	488.4	417,288
三菱重工業	66.1	34.1	459,156
スター精密	193	219.9	408,574
電気機器 (11.4%)			
日清紡ホールディングス	329.5	326.8	401,147
コニカミノルタ	569.1	—	—
三菱電機	218.5	167.4	427,121
マブチモーター	89.5	149.2	420,296
日東工業	125	88.7	392,497
I D E C	100	140.5	384,127
パナソニック ホールディングス	284.5	269.9	396,078
カシオ計算機	259.2	330.7	424,288
S C R E E Nホールディングス	29.9	21	396,690
キヤノン	115.2	92.8	419,177

しんきん好配当利回り株マザーファンド ー 第 19 期 ー

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
東京エレクトロン	7.3	10.6	417,004	
輸送用機器 (7.0%)				
デンソー	46.4	147	431,004	
いすゞ自動車	207.1	189.5	399,560	
トヨタ自動車	180.3	110.6	420,169	
アイシン	90.3	71.4	431,184	
本田技研工業	95	225.4	426,006	
SUBARU	153.3	120.8	412,048	
精密機器 (1.2%)				
ニコン	250.7	264.4	435,202	
その他製品 (1.1%)				
任天堂	64.5	47.5	397,955	
電気・ガス業 (1.2%)				
中部電力	236.7	207.3	417,502	
陸運業 (2.3%)				
九州旅客鉄道	112	115.9	415,965	
NIPPON EXPRESSホールディングス	43.8	51.4	396,602	
倉庫・運輸関連業 (1.1%)				
住友倉庫	147.5	155.2	399,950	
情報・通信業 (6.8%)				
B I P R O G Y	106.4	87.1	411,634	
日本テレビホールディングス	294.9	186.7	399,538	
日本電信電話	85.4	2,163.6	389,880	
ソフトバンク	219.3	205.1	415,019	
S C S K	169.3	140.9	413,259	
T K C	91.5	107.8	409,640	
卸売業 (5.7%)				
伊藤忠商事	81.5	60.7	400,802	
三井物産	82.7	60.6	430,744	
住友商事	142.2	114.3	425,310	
サンゲツ	139.7	116.1	391,257	
因幡電機産業	117.7	113.7	399,087	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
小売業 (3.5%)				
ローソン	61.7	—	—	
日本瓦斯	177.3	165.2	439,762	
ヤマダホールディングス	705.2	916.3	411,876	
サンドラッグ	95.1	86.5	417,968	
銀行業 (6.4%)				
あおぞら銀行	129.6	50.8	127,254	
三菱UFJフィナンシャル・グループ	357.3	259.2	407,592	
りそなホールディングス	462.3	482.6	446,163	
三井住友トラスト・ホールディングス	65.8	129.8	433,012	
三井住友フィナンシャルグループ	57.3	48.2	429,558	
みずほフィナンシャルグループ	160.5	143.4	436,366	
証券、商品先物取引業 (2.5%)				
大和証券グループ本社	527.4	369	433,944	
野村ホールディングス	605.8	467.2	462,060	
保険業 (3.6%)				
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	75.5	54.2	433,762	
東京海上ホールディングス	118.5	91.5	437,919	
T&Dホールディングス	167.4	152	412,604	
不動産業 (2.3%)				
大東建託	25.5	23	406,525	
野村不動産ホールディングス	112.4	101	411,777	
サービス業 (4.5%)				
H. U. グループホールディングス	121.7	152.2	389,023	
ユー・エス・エス	150.4	148.9	391,979	
日本郵政	279	273.7	427,656	
メイテックグループホールディングス	137.4	131.9	402,690	
合 計	株 数 ・ 金 額	16,033	17,619	35,894,529
	銘柄数<比率>	88	87	<99.4%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注4) 一印は組み入れなし。

○投資信託財産の構成

(2024年3月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	35,894,529	99.0
コール・ローン等、その他	363,110	1.0
投資信託財産総額	36,257,639	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	36,257,639,252
コール・ローン等	299,812,520
株式(評価額)	35,894,529,530
未収配当金	63,297,200
未収利息	2
(B) 負債	160,003,177
未払解約金	160,000,000
その他未払費用	3,177
(C) 純資産総額(A-B)	36,097,636,075
元本	8,738,473,059
次期繰越損益金	27,359,163,016
(D) 受益権総口数	8,738,473,059口
1万口当たり基準価額(C/D)	41,309円

(注1) 当親投資信託の期首元本額は10,414,858,873円、期中追加設定元本額は2,379,679,251円、期中一部解約元本額は4,056,065,065円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
 しんきん3資産ファンド(毎月決算型) 5,234,450,421円
 しんきん好配当利回り株ファンド(3ヵ月決算型) 1,631,865,562円
 しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) 827,903,232円
 しんきん3資産ファンド(1年決算型) 355,754,343円
 しんきん世界アロケーションファンド 229,165,970円
 しんきん世界アロケーションファンド(積極型) 214,463,020円
 しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型) 184,555,140円
 しんきん好配当利回り株スペシャルII(適格機関投資家限定) 60,315,371円

(注3) 1口当たり純資産額は4,1309円です。

○損益の状況 (2023年3月21日~2024年3月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,142,821,182
受取配当金	1,142,125,870
受取利息	2
その他収益金	805,610
支払利息	△ 110,300
(B) 有価証券売買損益	12,954,932,105
売買益	13,215,019,516
売買損	△ 260,087,411
(C) 保管費用等	△ 121,247
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,097,632,040
(E) 前期繰越損益金	17,901,095,160
(F) 追加信託差損益金	5,474,040,749
(G) 解約差損益金	△10,113,604,933
(H) 計(D+E+F+G)	27,359,163,016
次期繰越損益金(H)	27,359,163,016

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

当ファンドを投資対象とするベビーファンドを新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について投資信託約款に所要の変更を行いました。(2023年9月9日実施)

運用報告書

親投資信託

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

第21期

(決算日：2024年2月8日)

しんきん欧州ソブリン債マザーファンドの第21期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	①主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。 ②FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。 ③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。 ④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要投資対象	EMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純総資産額
	円	騰落率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落率		
17期(2020年2月10日)	15,958	2.7%	231.99	4.7%	98.5%	13,040 百万円
18期(2021年2月8日)	16,988	6.5%	249.57	7.6%	98.3%	12,436
19期(2022年2月8日)	16,661	△1.9%	244.25	△2.1%	98.3%	12,675
20期(2023年2月8日)	15,046	△9.7%	225.13	△7.8%	98.2%	12,701
21期(2024年2月8日)	17,508	16.4%	264.17	17.3%	98.0%	13,585

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	騰落率
	円	騰落率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落率		
(期首) 2023年2月8日	15,046	—	225.13	—	98.2%	
2月末	15,139	0.6%	225.89	0.3%	97.9%	
3月末	15,509	3.1%	231.57	2.9%	97.9%	
4月末	15,668	4.1%	240.53	6.8%	97.9%	
5月末	16,015	6.4%	239.31	6.3%	98.4%	
6月末	16,808	11.7%	252.64	12.2%	98.2%	
7月末	16,529	9.9%	250.55	11.3%	98.3%	
8月末	16,984	12.9%	253.58	12.6%	98.3%	
9月末	16,288	8.3%	246.73	9.6%	98.1%	
10月末	16,575	10.2%	250.98	11.5%	98.4%	
11月末	17,419	15.8%	260.56	15.7%	98.4%	
12月末	17,638	17.2%	260.58	15.7%	98.1%	
2024年1月末	17,577	16.8%	264.54	17.5%	98.1%	
(期末) 2024年2月8日	17,508	16.4%	264.17	17.3%	98.0%	

(注) 騰落率は期首比です。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第21期の運用経過等（2023年2月9日～2024年2月8日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・インフレ高進を抑制するため、欧州中央銀行（ECB）政策理事会が、2023年9月まで継続的な利上げを実施していたことで、ドイツを中心とした欧州国債全体の金利が上昇傾向となったことや、9月のECB政策理事会後、ラガルド総裁が利下げを現段階では議論していないと発言したこと等を受けて、11月までユーロ高円安が大きく進んだこと。
- ・2023年11月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で米政策金利の据え置きが決定され、FOMC後に行ったパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言が、利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、米国債金利が大きく低下した流れが欧州国債にも波及し、年末にかけて欧州国債金利も大きく低下したこと。

＜下落要因＞

- ・インフレ高進を抑制するため、ECB政策理事会が、2023年9月まで継続的な利上げを実施していたことや、米国債金利の上昇の流れを受けて、10月頃までドイツを中心とした欧州国債全体の金利が上昇傾向となったこと。

<投資環境>

(欧州債券市況)

当期初は、ECBが2022年よりインフレ圧力抑制のため利上げを継続的に実施していたため、欧州国債金利は上昇基調で推移しました。2023年3月中旬は、米シリコンバレーバンク(SVB)の経営破綻によるリスク回避の動きが欧州全体にも広がり、欧州国債金利は低下しました。その後は、ECBが継続的な利上げを実施していたことや、9月のECB政策理事会後、ラガルド総裁が利下げを現段階では議論していないと発言したこと等を受けて、10月ごろまで欧州国債金利は上昇基調で推移しました。しかし、11月のFOMCで米政策金利の据え置きが決定され、FOMC後に行ったパウエルFRB議長の発言が利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、米国債金利が大きく低下した流れが欧州国債にも波及し、年末にかけて欧州国債金利も大きく低下しました。2024年初以降は、ドイツの1月の製造業購買担当者景気指数(PMI)の改定値が速報値から上方修正されたことで、早期の利下げ観測が後退したことや、米雇用関連統計の良好な結果を受けた米国債の金利上昇に連れて、欧州国債金利はやや上昇しました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当期初から、インフレ高進を抑制するためにECBが大幅な利上げを行ってきたこと等を背景に、2023年11月まではユーロが円に対して強含みました。一方で、年末にかけては、上記要因等を受けた欧州国債金利の低下や、日本銀行の植田総裁が12月に行われた参議院財政金融委員会で、今後の金融政策について「年末から来年にかけて一段とチャレンジングになる」と発言したことで、12月以降の日銀金融政策決定会合で金融政策修正の可能性が意識されたこと等が材料視され、円が買い戻されました。その後、当期末にかけては、欧州国債金利の上昇に連れて、再びユーロ高円安となりました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当期を通じて、欧州ソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。

投資国各国の国債インデックスに対する修正デュレーション(金利感応度)は、中立を基本としました。2024年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは7.36年、時価最終利回りは2.76%となっています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当期における基準価額の騰落率は+16.4%となりました。一方、ベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)の騰落率は+17.3%でした。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、主としてEMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年2月9日～2024年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 7	% 0.043	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.043	
期中の平均基準価額は、16,512円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○ 売買及び取引の状況

(2023年2月9日～2024年2月8日)

公社債

外 国	ユーロ		買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	4,648	4,909
	フランス	国債証券	4,859	7,891
	オランダ	国債証券	1,568	1,284
	スペイン	国債証券	2,723	4,157
	ベルギー	国債証券	1,468	2,184
	オーストリア	国債証券	1,685	1,922

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○ 利害関係人との取引状況等

(2023年2月9日～2024年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	21,450	22,358	3,570,173	26.3	—	19.4	5.8	1.0
フランス	29,250	28,711	4,584,649	33.7	—	23.3	6.8	3.7
オランダ	5,800	5,199	830,325	6.1	—	5.1	1.0	—
スペイン	17,000	16,861	2,692,445	19.8	—	14.7	4.0	1.2
ベルギー	6,400	6,108	975,380	7.2	—	6.1	0.7	0.5
オーストリア	4,650	4,114	656,930	4.8	—	2.8	1.3	0.7
合 計	84,550	83,353	13,309,905	98.0	—	71.4	19.6	7.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第21期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	2,300	1,955	312,225	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,200	1,999	319,330	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,300	2,205	352,235	2026/2/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	900	875	139,803	2025/8/15
		DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,100	2,977	475,371	2032/8/15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	1,650	1,816	290,109	2042/7/4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,400	3,983	636,127	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,500	2,757	440,393	2028/7/4
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,500	2,038	325,464	2031/11/25
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	2,800	2,710	432,770	2025/5/25
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	2,550	2,424	387,148	2027/5/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	2,300	1,975	315,484	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	1,600	1,317	210,409	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,700	2,501	399,475	2031/5/25
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	400	398	63,555	2024/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	2,400	2,389	381,599	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,319	530,105	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	2,900	2,892	461,832	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,900	3,215	513,457	2038/10/25
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	416	66,517	2031/7/15
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	500	445	71,105	2029/7/15
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,400	995	159,030	2040/1/15
		NETHER 0.500 07/15/26	0.5	100	95	15,197	2026/7/15
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	800	755	120,715	2027/7/15
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	2,500	2,490	397,758	2033/1/15
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	3,700	3,315	529,498	2029/7/30
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	2,000	1,921	306,753	2027/4/30
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	1,500	1,470	234,799	2026/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	3,000	2,829	451,830	2030/7/30
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,000	986	157,599	2025/10/31
		SPGB 2.350 07/30/33	2.35	400	373	59,602	2033/7/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	2,700	2,910	464,701	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,700	3,053	487,659	2041/7/30
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	400	388	61,988	2025/6/22
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	600	566	90,399	2027/6/22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	1,200	1,101	175,819	2029/6/22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,500	1,075	171,759	2047/6/22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,300	1,310	209,233	2034/6/22
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,400	1,666	266,180	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	250	207	33,117	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	500	468	74,767	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	700	651	104,051	2028/2/20

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第 21 期ー

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
オーストリア	国債証券	RAGB 1.200 10/20/25	1.2	600	583	93,192	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,300	956	152,689	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,300	1,246	199,111	2034/5/23
合 計						13,309,905	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 13,309,905	% 98.0
コール・ローン等、その他	275,184	2.0
投資信託財産総額	13,585,089	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (13,504,844千円) の投資信託財産総額 (13,585,089千円) に対する比率は99.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年2月8日現在、1ユーロ＝159.68円です。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー 第 21 期 ー

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月8日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	13,585,089,751	
コール・ローン等	127,439,896	
公社債(評価額)	13,309,905,235	
未収利息	139,935,965	
前払費用	7,808,655	
(B) 負債	1,456	
未払利息	233	
その他未払費用	1,223	
(C) 純資産総額(A-B)	13,585,088,295	
元本	7,759,452,871	
次期繰越損益金	5,825,635,424	
(D) 受益権総口数	7,759,452,871口	
1万口当たり基準価額(C/D)	17,508円	

(注1) 当親投資信託の期首元本額は8,441,728,106円、期中追加設定元本額は1,124,842,247円、期中一部解約元本額は1,807,117,482円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
 しんきん3資産ファンド(毎月決算型) 5,933,180,203円
 しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) 632,735,669円
 しんきん3資産ファンド(1年決算型) 377,606,627円
 しんきん世界アロケーションファンド 208,896,065円
 しんきん世界アロケーションファンド(積極型) 194,437,895円
 欧米ソブリン債ポートフォリオ 149,873,095円
 欧州ソブリン債ポートフォリオ 137,568,596円
 しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型) 125,154,721円

(注3) 1口当たり純資産額は1.7508円です。

○損益の状況 (2023年2月9日~2024年2月8日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	315,592,607	
受取利息	315,628,584	
その他収益金	719	
支払利息	△ 36,696	
(B) 有価証券売買損益	1,722,558,349	
売買益	1,866,068,751	
売買損	△ 143,510,402	
(C) 保管費用等	△ 5,951,688	
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,032,199,268	
(E) 前期繰越損益金	4,260,108,893	
(F) 追加信託差損益金	696,597,753	
(G) 解約差損益金	△1,163,270,490	
(H) 計(D+E+F+G)	5,825,635,424	
次期繰越損益金(H)	5,825,635,424	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

当ファンドを投資対象とするベビーファンドを新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について投資信託約款に所要の変更を行いました。(2023年9月9日実施)

運用報告書

親投資信託

しんきん米国ソブリン債マザーファンド

第21期

(決算日：2024年2月8日)

しんきん米国ソブリン債マザーファンドの第21期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	<p>①主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。</p> <p>②FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。</p> <p>③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。</p> <p>④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。</p> <p>⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	<p>①株式への投資は行いません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純資産額
	期騰落	中率	F T S E 米 国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落		
17期(2020年2月10日)	円	%	ポイント	%	%	百万円
17期(2020年2月10日)	17,061	8.5	393.90	8.7	98.5	13,343
18期(2021年2月8日)	17,139	0.5	392.59	△ 0.3	98.6	12,510
19期(2022年2月8日)	18,027	5.2	415.21	5.8	98.5	12,921
20期(2023年2月8日)	18,693	3.7	433.40	4.4	98.6	12,701
21期(2024年2月8日)	21,473	14.9	497.07	14.7	98.5	14,047

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	券率
	騰落	率	F T S E 米 国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落		
(期首) 2023年2月8日	円	%	ポイント	%	%	
	18,693	—	433.40	—	98.6	
2月末	19,165	2.5	442.00	2.0	99.0	
3月末	19,244	2.9	444.26	2.5	98.7	
4月末	19,416	3.9	456.98	5.4	98.6	
5月末	20,052	7.3	463.48	6.9	99.0	
6月末	20,674	10.6	475.93	9.8	98.8	
7月末	20,068	7.4	466.21	7.6	98.3	
8月末	20,698	10.7	475.27	9.7	98.8	
9月末	20,711	10.8	476.42	9.9	98.7	
10月末	20,478	9.5	477.67	10.2	98.5	
11月末	20,894	11.8	482.32	11.3	98.2	
12月末	20,790	11.2	475.38	9.7	98.8	
2024年1月末	21,444	14.7	491.59	13.4	98.4	
(期末) 2024年2月8日	21,473	14.9	497.07	14.7	98.5	

(注) 騰落率は期首比です。

- ※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。
- ※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第21期の運用経過等（2023年2月9日～2024年2月8日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施していたことや、米政策金利がより長期にわたって高水準で維持される公算が大きいと市場で見られていたこと等を背景として、米国債金利が上昇傾向となる中、日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢となり、米ドル高円安が進んだこと。

<下落要因>

- ・米連邦公開市場委員会（FOMC）において、継続的に利上げが決定されていたことや、その後も政策金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いとFRB高官等が示唆していたこと等を受けて、米国債金利が上昇したこと。

＜投資環境＞

（米国国債市況）

当期初から2023年10月ごろまでは、FRBがインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施していたことや、利上げ停止後も米政策金利がより長期にわたって高水準で維持される公算が大きいと市場で見られていたこと等を背景に、米国債金利は上昇傾向で推移しました。その後は、11月のFOMCで米政策金利の据え置きが決定され、FOMC後に行ったパウエルFRB議長の発言が、利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められたことや、12月のFOMCで、2024年に複数回の金利下げを行うとの見通しが示されたこと等を要因として、当期末にかけて米国債金利は大きく低下しました。

（為替市況：ドル円市場）

当期初から2023年10月ごろまでは、FRBがインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施したこと米国債金利が上昇したことを受けて、米ドル高円安基調で推移しました。11月から12月までの米ドル円相場は、利下げ終了を示唆する発言をパウエルFRB議長が行ったこと等を受けて、米国債金利が大きく低下したことで米ドルが売られ、米ドル安円高が進みました。一方で、2024年に入ってから、市場の早期利下げ期待をけん制する旨のFRB高官の発言等が材料視され、米国の早期利下げ観測がやや後退したことや、元日に発生した能登半島地震の影響を考慮し、1月の日銀金融政策決定会合では金融政策の修正は行われないと市場で予想されていたことで、米ドルが買い戻されました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、米国国債等の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2024年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは5.95年、時価最終利回りは4.42%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は+14.9%となりました。ベンチマークであるFTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は+14.7%となっています。この差には、ファンドとベンチマークにおける組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月9日～2024年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.024	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5	0.024	
期中の平均基準価額は、20,302円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2023年2月9日～2024年2月8日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千ドル 21,745	千ドル 22,661

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月9日～2024年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千ドル 103,700	千ドル 93,387	千円 13,835,421	% 98.5	% —	% 49.4	% 19.6	% 29.4
合 計	103,700	93,387	13,835,421	98.5	—	49.4	19.6	29.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん米国ソブリン債マザーファンド ー第21期ー

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当		期		償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千ドル	千ドル	千円	
	国債証券					
	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	3,800	2,561	379,476	2041/8/15
	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	4,300	3,106	460,289	2046/5/15
	T-BOND 3.000 02/15/47	3.0	2,500	1,971	292,075	2047/2/15
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	4,600	3,859	571,839	2042/2/15
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,700	2,964	439,166	2048/5/15
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,500	2,299	340,687	2039/2/15
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,561	527,599	2044/2/15
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	3,000	3,022	447,713	2040/5/15
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,455	363,731	2037/2/15
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,158	171,673	2029/2/15
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,058	156,778	2026/11/15
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,600	1,284	190,243	2030/8/15
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	3,450	2,802	415,243	2030/11/15
	T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	4,200	4,057	601,132	2025/1/15
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	3,200	2,615	387,430	2031/8/15
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	3,800	3,114	461,349	2031/11/15
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,600	1,380	204,530	2030/2/15
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	3,900	3,692	546,977	2026/2/15
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,485	516,357	2026/5/15
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	1,900	1,675	248,157	2029/8/15
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	4,900	4,716	698,740	2025/8/15
	T-NOTE 2.250 11/15/24	2.25	650	636	94,292	2024/11/15
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	4,500	4,329	641,388	2025/11/15
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	2,950	2,756	408,429	2027/11/15
	T-NOTE 2.375 08/15/24	2.375	3,900	3,843	569,479	2024/8/15
	T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	1,500	1,449	214,768	2026/1/31
	T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	2,550	2,381	352,872	2029/2/15
	T-NOTE 2.750 02/28/25	2.75	600	587	87,025	2025/2/28
	T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	5,100	4,984	738,476	2025/5/31
	T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	3,400	3,259	482,853	2028/11/15
	特殊債券 (除く金融債)					
	ASIA 1.875 01/24/30	1.875	5,300	4,635	686,727	2030/1/24
	IADB 2.125 01/15/25	2.125	3,400	3,312	490,710	2025/1/15
	IBRD 0.750 11/24/27	0.75	2,200	1,932	286,292	2027/11/24
	IBRD 1.875 10/27/26	1.875	2,600	2,436	360,911	2026/10/27
合	計				13,835,421	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,835,421	98.5
コール・ローン等、その他	212,516	1.5
投資信託財産総額	14,047,937	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(13,992,863千円)の投資信託財産総額(14,047,937千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年2月8日現在、1ドル=148.15円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月8日現在)

○損益の状況 (2023年2月9日~2024年2月8日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,047,937,700
コール・ローン等	93,707,750
公社債(評価額)	13,835,421,993
未収利息	114,358,534
前払費用	4,449,423
(B) 負債	1,416
未払利息	160
その他未払費用	1,256
(C) 純資産総額(A-B)	14,047,936,284
元本	6,542,253,274
次期繰越損益金	7,505,683,010
(D) 受益権総口数	6,542,253,274口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,473円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	370,483,406
受取利息	370,518,029
支払利息	△ 34,623
(B) 有価証券売買損益	1,501,503,193
売買益	1,850,131,222
売買損	△ 348,628,029
(C) 保管費用等	△ 3,237,742
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,868,748,857
(E) 前期繰越損益金	5,906,333,637
(F) 追加信託差損益金	916,667,280
(G) 解約差損益金	△1,186,066,764
(H) 計(D+E+F+G)	7,505,683,010
次期繰越損益金(H)	7,505,683,010

(注1) 当親投資信託の期首元本額は6,794,667,025円、期中追加設定元本額は908,642,720円、期中一部解約元本額は1,161,056,471円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
 しんきん3資産ファンド(毎月決算型) 5,002,261,771円
 しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) 532,517,868円
 しんきん3資産ファンド(1年決算型) 307,397,956円
 しんきん世界アロケーションファンド 171,255,418円
 しんきん世界アロケーションファンド(積極型) 159,731,399円
 米国ソブリン債ポートフォリオ 145,143,887円
 欧米ソブリン債ポートフォリオ 121,566,782円
 しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型) 102,378,193円

(注3) 1口当たり純資産額は2.1473円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

当ファンドを投資対象とするベビーファンドを新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について投資信託約款に所要の変更を行いました。(2023年9月9日実施)